

平成22年4月28日

平成22年3月期通期の業績予想の修正に関するお知らせ

武蔵野銀行（頭取 加藤喜久雄）では、「平成22年3月期通期の業績予想に関するお知らせ」について、別添のとおりお知らせします。

なお、本件につきましては、本日東京証券取引所においても同時に発表しております。

以 上

報道機関からのお問い合わせ先

総合企画部 坂本・武川

TEL (048) 643-6468



平成22年4月28日

各 位

会 社 名 株式会社 武蔵野銀行
 代表者名 取締役頭取 加藤 喜久雄
 (コード番号 8336 東証第一部)
 問合せ先 常務執行役員総合企画部長 島雄 廣
 (TEL. 048-641-6111)

平成22年3月期通期の業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年11月2日に公表しました平成22年3月期通期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成22年3月期 個別業績予想数値の修正

(1)通期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(金額単位：百万円)

	経常収益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	75,000	5,500	3,600	106円16銭
今回修正予想(B)	75,000	6,600	4,100	120円90銭
増減額(B-A)	—	1,100	500	—
増減率(%)	—	20.0%	13.8%	—
(ご参考) 前期実績(平成21年3月期)	78,100	△8,115	△4,114	△120円76銭

(2)通期業績予想の修正理由

資金利益が当初予想より増加したことによるコア業務純益の改善があったほか、与信関係費用が想定よりも減少したことなどから、有価証券等関係損益が減少したものの、経常利益は前回発表予想比11億円増加の66億円、当期純利益も同じく5億円増加の41億円を見込んでおります。

2. 平成22年3月期 連結業績予想数値の修正

(1)通期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(金額単位：百万円)

	経常収益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	85,000	4,600	2,800	82円57銭
今回修正予想(B)	85,600	6,400	3,500	103円21銭
増減額(B-A)	600	1,800	700	—
増減率(%)	0.7%	39.1%	25.0%	—
(ご参考) 前期実績(平成21年3月期)	89,062	△8,012	△4,397	△129円04銭

(2)通期業績予想の修正理由

個別業績予想の修正理由に加え、子会社の保証会社における与信関係費用が予想に比べ減少したことなどから、経常利益は前回発表予想比18億円増加の64億円、当期純利益も同じく7億円増加の35億円を見込んでおります。

【ご参考】

平成 22 年 3 月期 業績予想修正の概要(単体)

(金額単位:億円)

	平成 22 年 3 月期(通期)			平成 22 年 3 月期(通期)		
	前回予想	今回予想	前回予想比	前年実績	今回予想	前年実績比
経常収益	750	750	0	781	750	△31
コア業務粗利益	558	567	9	580	567	△13
資金利益	500	508	8	523	508	△15
役務取引等利益	40	38	△2	40	38	△2
その他業務利益 (国債等関係損益を除く)	18	20	2	16	20	4
経費(△)	358	355	△3	360	355	△5
コア業務純益	200	211	11	219	211	△8
与信関係費用(△)	117	111	△6	180	111	△69
有価証券等関係損益	△4	△11	△7	△95	△11	84
経常利益	55	66	11	△81	66	147
当期純利益	36	41	5	△41	41	82

コア業務粗利益 = 資金利益 + 役務取引等利益 + その他業務利益 - 国債等関係損益

与信関係費用 = 一般貸倒引当金繰入額 + 不良債権処理損失

有価証券等関係損益 = 国債等関係損益 + 株式等関係損益 コア業務純益 = コア業務粗利益 - 経費

主な増減要因(通期)

<コア業務純益>

前回予想時に比べ利鞘の改善による資金利益の増加や経費の減少などから、役務取引等利益が減少したものの、前回予想比11億円の増益見込みとなりました。

<経常利益・当期純利益>

コア業務純益の増加に加え、与信関係費用が当初の想定よりも減少したことなどから、有価証券等関係損益が減少したものの、経常利益は前回予想比11億円増加の66億円、当期純利益も同じく5億円増加の41億円を見込んでおります。

※ 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上